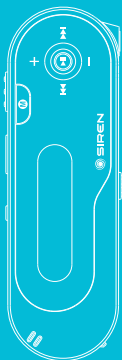




DP10T

Digital Audio Player

取扱説明書



最新のカラー版取扱説明書は、SIREN Web サイト [www.sirenjp.com] にアップロードされています。

目次

安全上のご注意	iii	基本の操作	18
絵表示について	iii	音楽を聴く(基本)	18
安全上のご注意	iv	再生の基本操作	18
はじめに	1	再生の応用操作	20
ご使用の前に	2	曲の検索	21
パッケージ内容の確認	2	音楽を聴く(応用)	23
電池の入れ方	3	区間リピートの設定	23
イヤホンの接続	5	メインメニューについて	24
各部の名称と動作	6	モードを変更するには	24
各部の名称	6	録音(ボイスレコーディング)	25
各部の動作	7	音声の録音	25
表示部	11	録音データの再生	26
再生時表示	11	応用の操作	27
ボイスレコーダー表示	11	設定を変更するには	27
メニュー表示	12	セッティングメニューの操作	28
準 備	13	イコライザー	30
パソコンとの接続と切り離し	13	再生モード	31
接続	13	コントラスト	32
切り離し(Windows 2000/Me/XP/ Vista の場合)	14	バックライトタイマー	33
CD からの録音方法	16	録音設定	34
		オートオフ	35
		設定を初期状態に戻す	36
		言語	37
		間違ってキーを押さないために	38
		ホールド機能について	38

商標と著作権

- ① 本書の内容の一部または全部を無断で転載する事を禁じます。
- ② 本書の内容および含まれている情報は、予告なく変更される事があります。
- ③ 本書の内容には万全を期しておりますが、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなどがございましたら、弊社サポートセンターまでご連絡ください。
- ④ 当社では、本製品を運用した結果の影響につきましては、③項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。
- ⑤ 本書内で指示されている内容には、必ず従ってください。本書に記載されている内容を見誤った行為や誤った操作によって生じた障害および損害については、保障期間内であっても責任を負いかねますのでご了承ください。

Microsoft、Windows Media および Windows のロゴは米国およびその他の国における Microsoft Corporation の商標または登録商標です。

その他、記載されている製品名、ブランド名、会社名は、各社の商標または登録商標です。

ファームウェアのアップグレードについて	39
ホームページからのファームウェアのダウンロード方法	39
ファームウェアのアップグレード方法	43
リカバリーモードを使つてのファームウェアのアップグレード方法	46
ファームウェアのバージョンを確認	48
その他	50
故障かなと思ったら	50
本機のリセット方法	52
サポートセンターへのお問い合わせ方法	53
最新情報について	54
製品の修理／交換について	54

安全上のご注意

ご使用の前に、この「取扱説明書」をよくお読みになり、正しくお使いください。お読みになった後は、いつでも見られる場所に保証書と共に大切に保管してください。

■ 絵表示について ■

この「安全上のご注意」は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、いろいろな絵表示をしています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。



○記号は禁止の行為であることを告げるものです。
図の中や近傍に具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。



●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。
図の中に具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け)が描かれています。



△記号は注意を促す内容があることを告げるものです。
図の中に具体的な注意内容(左図の場合は指をはさまれないように注意)が描かれています。

安全上のご注意

警告

- 万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、煙が出なくなるのを確認して、修理をご依頼ください。
- 万一、内部に水などが入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、サポートセンターへご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
- 万一、機器内部に異物が入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、サポートセンターへご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



電源プラグを
コンセントから
抜け

- 風呂場では使用しないでください。火災・感電の原因となります。



水場での使用
禁止

- この機器に水が入ったり、ぬらさないようにご注意ください。火災・感電の原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。



水濡れ禁止

警告

- 万一、この機器を落としたり、キャビネットを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、サポートセンターにご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



電源プラグを
コンセントから
抜け

- この機器の内部に金属類や燃えやすいものを差し込んだり、落し込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。
- この機器の上や近くに花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器や小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合火災・感電の原因となります。



- この機器のキャビネット(除く、電池蓋)は絶対外さないでください。感電の原因となります。内部の点検・整備・修理はサポートセンターにご依頼ください。
- この機器を改造しないでください。火災・感電の原因となります。



分解禁止

- 使える電池は、単4マンガン電池とアルカリ電池です。これ以外の電池を使用すると、本機の故障や感電の原因となります。
- 使い終わった電池は、火の中に投げ入れないでください。爆発して火災・やけどの原因となります。



⚠ 注意

- 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。
- 窓を閉めきった自動車の中や直射日光が当たる場所など異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。キャビネットや部品に悪い影響を与え、火災の原因となることがあります。
- 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。



- イヤホンやスピーカー等を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。また、接続は指定のコードを使用してください。指定以外のコードを使用したり、コードを延長したりすると発熱しやけどの原因となることがあります。
- 再生する前には、音量(ボリューム)を最小にしてください。突然大きな音がでて聴力障害などの原因となることがあります。また、本機をスピーカーを使ってお楽しみなる前にも、音量(ボリューム)を最小にしてください。
- 自動車やバイク、自転車運転中は、イヤホンでの使用はおやめください。運転の妨げとなり、違法となる場合があります。
- 大音量で長時間音楽を聴き続けると、聴力に支障をきたす場合がありますのでご注意ください。万一、耳鳴がする場合にはご使用を中断してください。



はじめに

まず、はじめに

この度は本製品をお買い上げいただきありがとうございます。本製品の機能を最大限に利用してあなたの音楽ライフをさらに楽しいものにしてください。この「取扱説明書」では製品の操作方法と機能についてご紹介しています。正しく安全にお使いいただくため、ご使用前に必ず「安全上のご注意」「取扱説明書」をよくお読みください。

本製品の特徴

- MP3、WMA、WMA (DRM 対応) および WAV ファイルの再生が可能
- Microsoft Windows Technology DRM10 対応
- 便利なソート機能
- ID-3 タグ (ID3 V.1、ID3 V.2 対応) をサポート
- メニュー表示は日本語、英語に対応
- 内蔵マイク、音声録音
- 有機 EL ディスプレー搭載
- オートパワーセーブ機能
- USB2.0 対応 (転送速度 最大 12Mbps)
- 6 種類のプリセットイコライザー機能
- 単 4 形電池を使用し、約 18 時間の連続再生が可能
- バッテリー残量表示
- 対応 OS : Windows Me、2000、XP (SP2 以降)、Vista
- 本体の寸法は (突起物を含まず) (mm) : 91.2 (W) × 28.5 (H) × 20.0 (D)
- 重量 : 約 40g (内蔵充電電池含む)
- ファームウェアのアップグレード
 - ◆ 最新のファームウェアは SIREN Web サイト [www.sirenjp.com] からダウンロードしてください
 - ◆ ファームウェアのアップグレードをする前に、本機に入っている重要なファイルは必ずバックアップ保存してください

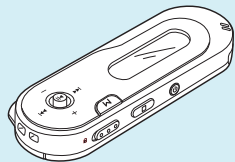
※ Microsoft Windows Technology DRM10 については、DRM10 対応のすべての音楽配信サービスの動作を保証するものではありません。

ご使用の前に

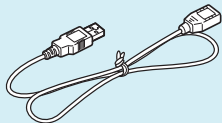
▶ パッケージ内容の確認

- 重要** ● お買い求めになられて、ご使用の前に下記の物が梱包されていることをご確認ください。万が一、不足がある場合は、当社のサポートセンターまでご連絡ください。

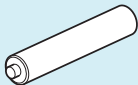
● DP10T デジタルオーディオプレーヤー



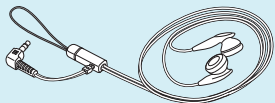
● USB ケーブル(パソコン接続用)



● 単 4 形電池



● ネックレス型イヤホン



● 取扱説明書(本書)

● クイックガイド

● 保証書

● 録音方法ガイド

▶ 電池の入れ方

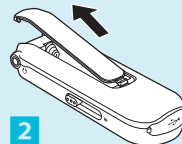
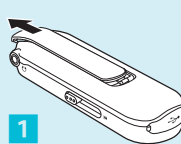
⚠ 警告

使える電池は、単 4 形のマンガン電池とアルカリ電池です。これ以外の電池を使用すると、本機の故障や感電の原因となります。

- 重要** ● 付属の電池は、始めに動作を確認していただくためのものです。早めに新しい電池と交換することをお勧めします。

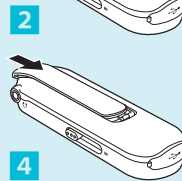
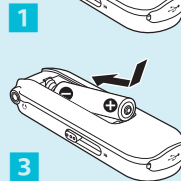
1 電池蓋を押しながら、ロックを外します。

- 下図のようにストラップホルダー側にスライドします。



2 電池蓋を外します。

3 電池の極性(+、-)をよく確かめて、一側から電池を入れます。



4 電池蓋を本機に寄せ、電池蓋にロックがかかるまで電池蓋をずらします。

- USB 接続端子側にスライドし、電池蓋をしっかりと閉めてください。

⚠ 警告

使い終わった電池は、火の中に投げ入れないでください。爆発して火災・やけどの原因となります。

📢 重要

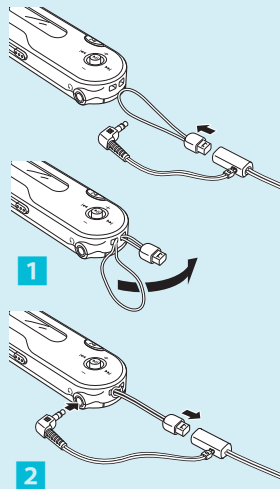
- 使い終わった電池は、各地方自治体の廃棄方法に従って処分してください。

💡 ヒント

- バッテリー表示が点滅しましたら、電池の残量がほとんどなくなっていますので、速やかに交換してください。
また、ボイス録音を行う場合は電池の残量が十分あることを確認してから、録音を行ってください。残量が少ないときに録音を行いますと、録音中に電源がオフになることがあり、録音されない場合があります。
この場合は、速やかに新しい電池と交換してください。

▶ イヤホンの接続

- 1 ネックレス型イヤホンのストラップ部をストラップホルダーに取り付けます。
- 2 付属のネックレス型イヤホンを実機
のイヤホン端子に接続します。

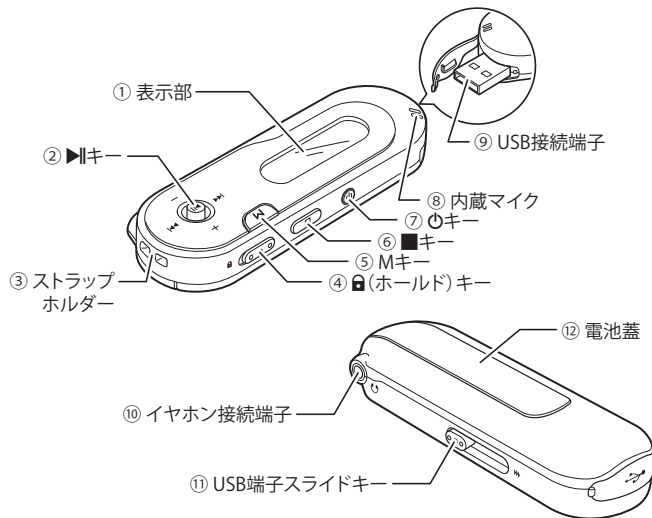


💡 ヒント

- 市販のストラップはストラップホルダーに取り付けてください。

各部の名称と動作

各部の名称



SIREN

各部の動作

各メニュー時の操作によりこれらのキーの機能が異なる場合がありますので、各メニュー操作の説明をご覧ください。

① 表示部

曲名やアーティスト名等が表示されます。(P.11)
選曲や設定のためのメニューが表示されます。(P.12)

② 再生/一時停止キー

◆ 音楽再生、録音再生モード時
このキーを押すと、曲の再生・一時停止を行います。

(+側、-側)

+側に押すと、音量が大きくなります。

-側に押すと、音量が小さくなります。

+側に押し続けると、音量が早く大きくなります。

-側に押し続けると、音量が早く小さくなります。

(<<<側、>>>側)

>>>側に押すと、次のデータ番号の曲に移ります。

<<<側に押すと、前のデータ番号の曲に移ります。

>>>側に押し続けると、再生中の曲の早送りができます。

<<<側に押し続けると、再生中の曲の早戻しができます。

SIREN

◆ 録音時

このキーを押すと、録音を一時停止します。
再度押すと録音を再開します。

◆ 各メニューモード表示時

このキーを押すことにより、各設定の選んだ項目を決定します。
このキーを◀◀側、▶▶側、+側、-側に押すことにより、各設定項目を移動させることができます。

③ ストラップホルダー

この部分に、イヤホンのストラップを通して使います。

④ 𠩺 (ホールド) キー

このキーを𠩺 マークの方向にスライドさせると、全てのキー操作ができなくなります。この状態でキー操作を行おうとすると「ロック状態」と表示され、元の画面に戻ります。

⑤ M キー

このキーを押すと、メインメニュー表示になります。(P.24)

◆ 音楽再生、録音再生モード時

このキーを短く押すと、区間リピートの設定になります。

◆ 録音時

このキーを押すことにより、1つ前の設定項目や表示に戻ります。

⑥ ■ キー

◆ 音楽再生、録音再生モード時

このキーを押すと、曲の始めに戻り、再生が停止します。

◆ 録音時

このキーを押すと、録音を停止し、メインメニューに戻ります。

⑦ 𠩺 (電源) キー

このキーを押すと、電源が入ります。
このキーを押し続けると電源が切れます。

⑧ 内蔵マイク

この部分がマイクロフォンになっています。ボイスレコーディング(録音)の時に使います。

⑨ USB 接続端子

この端子に、パソコンを接続します。

⑩ イヤホン接続端子

この端子にイヤホン接続します。

⑪ USB 端子スライドキー

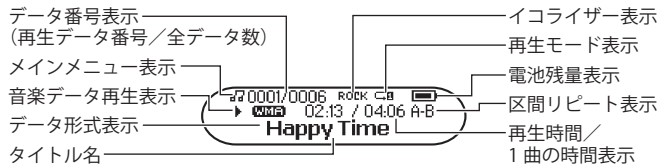
このキーを左側(◀◀◀マーク側)にスライドさせると、USB 接続端子が出ます。USB 接続端子をお使いでないときは、右側にスライドさせて、本体内部に入れて蓋をしてください。

⑫ 電池蓋

この電池蓋は、電池を取り替えるときに外してください。

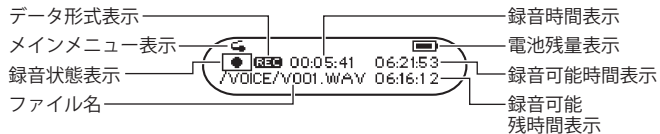
▶ 表示部

■ 再生時表示 ■



ヒント ●再生する曲や設定により、表示されない項目があります。

■ ボイスレコーダー表示 ■



メニュー表示

メインメニューおよびセッティングメニューを選択した場合は、下図の表示が表示されます。



メインメニュー



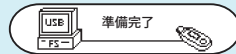
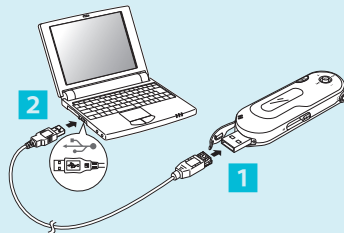
セッティングメニュー

準備

パソコンとの接続と切り離し

接続

- 1 本機の USB 端子カバーを外します。
- 2 USB 端子スライドキーを押しながらスライドし USB 端子を出します。
 - ノートパソコンやパソコンの USB 端子の間が狭い場合は、付属の USB 延長ケーブルを使用して本機に接続します。
- 3 本機または USB 延長ケーブルをパソコンに接続します。
- 4 本機の表示部が次のようになることを確認します。



注意

- パソコンによっては、USB 端子の向きが逆の場合があります。入らない場合は、無理に挿入せず USB 端子を逆向きに挿入してください。

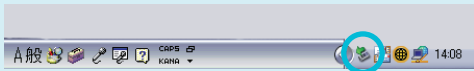
切り離し(Windows 2000/Me/XP/Vista の場合)

ヒント

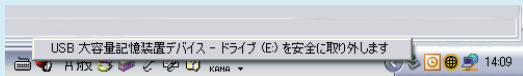
クリックマウスの左ボタンを押して、はなす操作です。
 ダブルクリックマウスの左ボタンを2回素早く押して、はなす操作です。
 右クリックマウスの右ボタンを押して、はなす操作です。

「リムーバブルディスク」として認識する場合

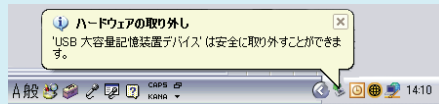
- 1 パソコンのタスクバーにある「ハードウェアの安全な取り外し」アイコンをクリックします。
 ●「USB 大容量記憶装置デバイスードライブを安全に取り外します」が表示されます。



- 2 「USB 大容量記憶装置デバイスードライブを安全に取り外します」をクリックします。
 ●「ハードウェアの取り外し」が表示されます。



- 3 「ハードウェアの取り外し」の×をクリックします。



- 4 本機をパソコンから外します。

ヒント

- 手順2にて左クリックするタイミングにより、本機の表示が点灯したままになることがあります。但し、本機をパソコンから切り離すと、本機は電源が切れた状態になり、再度電源が入ります。

「ポータブルメディアデバイス」として認識する場合

- 1 MTP Player または DP10T と表示されていることを確認します。
 ●「ハードウェアの安全な取り外し」の表示は、出ません。
- 2 本機とパソコン間でデータのやり取りを行っていないことを確認してから、本機を取り外してください。

重要


- 本機がポータブルメディアデバイスとして認識している場合、「ハードウェアの安全な取り外し」は表示しません。本機がパソコンとのデータのやり取りを行っていないことを確認してから取り外してください。

ヒント

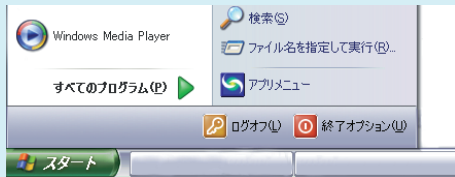
- パソコンから切り離すと、本機は電源が切れた状態になり、再度電源が入ります。

▶ CD からの録音方法

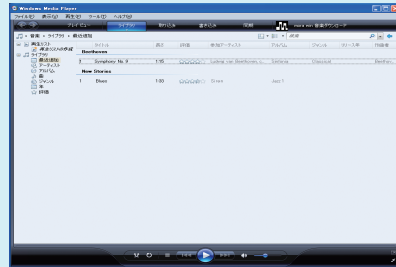
CD から録音する場合、曲をパソコンに音楽データとして取り込み(ダウンロード)、その後にその音楽データを本機にダウンロードします。この CD からパソコンへのダウンロードまたパソコンから本機へのダウンロードを行うときは、Windows に入っています Windows Media Player を使います。(Windows 2000 の場合は、Microsoft よりダウンロードしてください。)

-  **ヒント** ● Windows Media Player 9、10 の使い方については、サイレンのホームページをご覧ください。

- 1** スタートメニューから Windows Media Player のアイコンをクリックします。



- Windows Media Player 11 を開くと、次のような表示になります。



- Windows Media Player 11 の使い方については、本機に同梱されています「CD からの録音方法 (Windows Media Player 使用時)」をご覧ください。



重要

- 本機の中の曲を削除する場合、パソコンへ接続して削除したい音楽データを選択して削除します。

リムーバブルディスクとして認識している場合：

「マイ コンピュータ」→「リムーバブルディスク(本機と思われるもの)」→曲またはフォルダーを選んで、音楽データを削除してください。

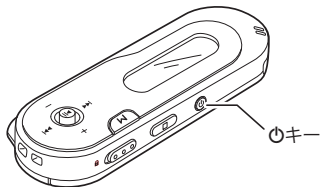
ポータブルメディアデバイスとして認識している場合：

「スタート」→「マイコンピュータ」→「オーディオデバイス」で DP10T を選んで、メディアフォルダー内から音楽データを削除してください。パソコンによっては「スタート」→「マイコンピュータ」→「その他」で DP10T を選んで Internal Storage 内から音楽データの削除になる場合もあります。

基本の操作

▶ 音楽を聴く(基本)

■ 再生の基本操作 ■

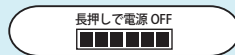


- ✓ **注意** ▶ ● 曲を再生する前に、一側に ▶|| キーを押して音量(ボリューム)を、最小にしてください。音量が大きいと、突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。

- 1** 電源キーを押し、電源を入れます。
● 表示部にロゴが表示され、その後データの更新(新規ファイルの検索、曲リストの作成)をした後に、再生表示になります。
● 電源キーを離してから、再生表示になるまでに数秒程度かかる場合があります。
- 2** ▶|| キーを押し、曲を再生します。
● 再生を一時停止するには、▶|| キーを押します。

- 3** 再生を停止するには、■ キーを押します。

- 4** 電源を切るには、⏻ キーを押し続けます。



- 「長押しで電源 OFF」の表示のバーが右端に行く前にキーを離すと、元の状態に戻ります。
- ⏻ キーを押し続けたままにすると、再度電源が入ることがあります。



ヒント

- 電源を入れ直すと、電源を切る前に使用していた音楽再生モードになります。
- 音楽の再生中に電源を切って再度電源を入れた場合は、電源を切った時の音楽トラックの曲の初めの位置になります。(トラックレジューム機能)。

■ 再生の応用操作 ■

再生時に使うその他のキー

- 1 〇 キーを押し、電源を入れます。
- 2 ▶▶ キーを押し、曲を再生します。
- 3 ▶▶ キーを＋側または－側に押し、音量を調整します。
 - ＋側に押すと、音量が大きくなります。
 - －側に押すと、音量が小さくなります。
 - ＋側に押し続けると、音量が早く大きくなります。
 - －側に押し続けると、音量が早く小さくなります。
- 4 ▶▶ キーを▶▶ 側に押し、次の曲に移ります。
 - ▶▶ 側に押し続けると、曲の早送りができます。
- 5 ▶▶ キーを◀◀ 側に1回押すと、再生中の曲の最初に戻ります。
 - ◀◀ 側に続けて押すと、前のデータ番号の曲に移ります。
 - ◀◀ 側に押し続けると、曲の早戻しができます。

 **ヒント** ● 曲の早送り、早戻しは、曲の停止中でも行えます。

■ 曲の検索 ■

曲は、ID3 タグ情報により、アーティスト・アルバム・ジャンル・タイトルにソートされます。ソートの種類別に、曲を検索することができます。

- 1 M キーを2秒以上押します。
 - メインメニューが表示されます。








- 2 ◀◀ 側または▶▶ 側に▶▶ キーを押し、「音楽再生」を選びます。

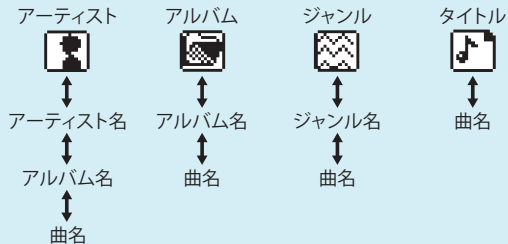


- 3 ▶▶ キーを押します。
 - ソートの種類が表示されます。



- 4 ◀◀ 側または▶▶ 側に▶▶ キーを押し、ソートの種類を選び、▶▶ キーを押します。
 -  「全曲再生」を選ぶと、全ての曲が再生されます。
全曲再生が選ばれると、全ての曲の最初から再生が始まります。
 -  「アーティスト」を選ぶと、アーティスト別に表示されます。
 -  「アルバム」を選ぶと、アルバム名が表示されます。
 -  「ジャンル」を選ぶと、曲のジャンル別に表示されます。
 -  「タイトル」を選ぶと、全ての曲のタイトルが表示されます。

- 5** +側または一側に▶|| キーを押して、項目を選び、▶|| キーを押します。
- この手順を何度か繰り返し、タイトル名を選んで、▶|| キーを押すと再生が始まります。
 - PLAY ALL を選ぶと、表示されている全ての曲が再生されます。
 - ソートと表示される内容は以下の図をごらんください。



- ✓ 注意** ID3 タグの作成方法により、選んだソートの種類では、表示されないことがあります。または、Unknown として表示されることがあります。

- 📎 ヒント**
- ID3 の情報を元に、各カテゴリーでソートを行います。したがって、同一のアルバムの音楽データを1つのフォルダーにまとめず、本機の中で保存することも可能です。「アルバム」を選択することで、バラバラに保存されていた音楽データを同一のアルバム名でまとめて表示します。
 - 曲名は、次の優先順位で表示されます。
数字→アルファベット→あいうえお

▶ 音楽を聴く(応用)

■ 区間リピートの設定 ■

再生中の曲のお聴きになりたい区間を繰り返し再生できます。

- 区間リピートさせたい音楽データを、「再生の応用操作」(P.20)の手順4、5に従い選びます。
- ▶|| キーを押し、曲の再生を開始します。
- 区間リピートをさせたい最初の部分がきた時に、M キーを押します。
● 表示部には [A -] が表示されます。
- 区間リピートをさせたい最後の部分がきた時に、再度 M キーを押します。
● 表示部は [A - B] となり、設定した区間のみ演奏が繰り返されます。
- 区間リピート演奏を解除するには、M キーを押します。
● 表示部は元の再生モードの表示になります。

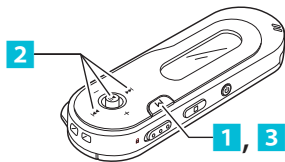
- ✓ 注意**
- 区間リピートは録音データの再生でも使用できます。
 - 区間リピートの設定は、曲間を越えての設定はできません。

▶ メインメニューについて

本機には音楽再生以外にも、次のようなモードがあります。メインメニューを使ってモードを切り換えます。



■ モードを変更するには



- 1 メインメニューが表示されるまで、M キーを押します。
 - メインメニューが表示します。
- 2 ◀◀ 側または ▶▶ 側に ▶|| キーを押し、モードを選び、▶|| キーを押します。
 - 選択したメニュー項目が表示します。
- 3 音楽再生モードへ戻るには、M キーを押します。

▶ 録音 (ボイスレコーディング)

本機の音声録音機能を使って、用件や会議の音声を録音できます。

■ 音声の録音

- 1 メインメニューにて、◀◀ 側または ▶▶ 側に ▶|| キーを押し、「ボイス録音」を選び、▶|| キーを押します。
 - 録音が始まり、📻 マークが表示されます。



- 2 録音の一時停止をするには、▶|| キーを押します。
 - 📻 マークが表示されます。
 - 再度録音を開始するには、▶|| キーを押します。
- 3 録音を止めるには、■ キーを押します。
 - 録音を止めると、メインメニューの表示になります。
 - 再度録音を開始するには、手順 1 を行ってください。

- ヒント**
- 録音されたファイルは、V00x.wav というファイル名になります。
 - 録音するフォーマットやレートを選べます (P.34)。本機で作ったデータをパソコンや他の機器で再生する場合、その機器が再生できるフォーマットにする必要があります。選ぶレートにより、録音の音質や録音時間が変わってきます。

録音データの再生

- 1 メインメニューにて、◀◀側または▶▶側に▶||キーを押し、「ボイス再生」を選び、▶||キーを押します。
 • ◀◀側または▶▶側に▶||キーを押し、再生する録音データを選びます。
- 2 ▶||キーを押し、録音した音声の再生を開始します。
 • +側または-側に▶||キーを押し、適当な音量に合わせます。
- 3 再生を一時停止するには、▶||キーを押します。
 • 再び再生を始めるには、再度▶||キーを押します。



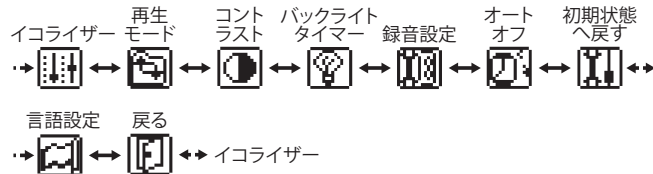
ヒント ● 録音した音声も、音楽データと同様に色々な再生ができます。(P.31)

応用の操作

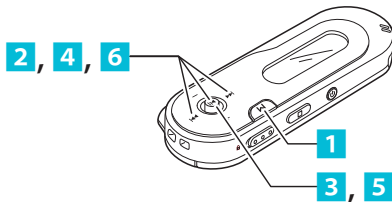
設定を変更するには

セッティングメニューを使うと、本機の再生方法や、音質などの様々な設定を変更できます。

ヒント ● セッティングメニューでは、表示される項目は◀◀側または▶▶側に▶||キーを押して選びます。



■ セッティングメニューの操作 ■



1 M キーを押すと、メインメニューが表示されます。

- メインメニューが表示されます。

2 ◀◀ 側または ▶▶ 側に ▶▶ キーを押し、「設定」を選びます。

3 ▶▶ キーを押します。

- セッティングメニューが表示されます。

4 ◀◀ 側または ▶▶ 側に ▶▶ キーを押し、設定を行うメニューを選びます。

5 ▶▶ キーを押します。

- 選んだ項目の設定内容が表示されます。
- 選んだ項目により、さらに項目を選ぶ場合があります。

6 ◀◀ 側または ▶▶ 側に ▶▶ キーを押し、設定する項目や値を選びます。



7 ▶▶ キーを押します。

- 選んだ項目や値が設定され、セッティングメニュー表示に戻ります。

8 再生画面に戻るには、M キーを何度か押します。

- セッティングメニューを使う前に表示していたデータの表示画面に戻ります。
- ◀◀ 側または ▶▶ 側に ▶▶ キーを押し、「戻る」を選び ▶▶ キーを押しても、メインメニューへ戻ることができます。
- 他のメニュー項目を選ぶ場合は、手順4から行ってください。



ヒント

- セッティングメニューの選んだ各項目で何も操作しないと、選ぶ前の表示に順次戻っていきます。ただし、この場合、選んだ項目は有効になります。

■ イコライザー ■

この機能を設定すると、色々な音質で曲の再生が楽しめます。
イコライザーは、予め設定されている6種類のイコライザーから曲や好みにあった設定を選びます。

1 セッティングメニューにて、◀◀ 側または ▶▶ 側に ▶▶ キーを押し、「イコライザー」を選びます。



2 ▶▶ キーを押します。
● イコライザーが表示されます。

3 ◀◀ 側または ▶▶ 側に ▶▶ キーを押して、設定内容を選びます。
● 次の5種類の再生方法が予め設定されています。
ノーマル、Xbass、ロック、クラシック、ジャズ、ポップ。
お聞きになる曲や好みに合わせてお選びください。

4 M キーを押します。
● セッティングメニューの表示に戻ります。

ヒント ● 再生中に表示されるマークとイコライザーの関係は次のようになります。
(表示なし) = ノーマル、XBASS = Xbass、ROCK = ロック、
CLASS = クラシック、JAZZ = ジャズ、POP = ポップ

■ 再生モード ■

音楽や録音したデータを再生する時に、色々な再生モードに変更できます。

1 セッティングメニューにて、◀◀ 側または ▶▶ 側に ▶▶ キーを押し、「再生モード」を選びます。



2 ▶▶ キーを押します。
● 再生モードが表示されます。

3 ◀◀ 側または ▶▶ 側に ▶▶ キーを押し、お好みの再生モードを選びます。

4 M キーを押します。
● セッティングメニューの表示に戻ります。

ヒント ● 再生中に表示されるマークと再生モードの関係は次のようになります。
(表示なし) = ノーマル、◀▶ = 1曲リピート、◀◀▶▶ = 全曲リピート、
S = ランダム再生、◀▶ S = ランダムリピート再生
● 再生中に、任意の区間を繰り返し聴きたい場合は、区間リピートの機能(P.23)をお使いください。

■ コントラスト ■

表示画面の明るさを変更できます。

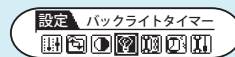
- 1 セッティングメニューにて、◀◀ 側または ▶▶ 側に ▶▶ キーを押し、「コントラスト」を選びます。
- 2 ▶▶ キーを押します。
 - レベルが表示されます。
- 3 ◀◀ 側または ▶▶ 側に ▶▶ キーを押し、コントラストを調整します。
- 4 M キーを押します。
 - セッティングメニューの表示に戻ります。



■ バックライトタイマー ■



バッテリーの消費を節約するために、表示部のバックライトが点灯する時間を変更できます。

- 1 セッティングメニューにて、◀◀ 側または ▶▶ 側に ▶▶ キーを押し、「バックライトタイマー」を選びます。
- 2 ▶▶ キーを押します。
 - 「なし」「3 秒」「5 秒」「10 秒」「15 秒」「常にオン」が表示されます。
- 3 ◀◀ 側または ▶▶ 側に ▶▶ キーを押し、時間を選びます。
 - 「なし」を選ぶとバックライトは点灯しません。
 - 「常にオン」を選ぶとバックライトは常時点灯します。
- 4 M キーを押します。
 - セッティングメニューの表示に戻ります。



録音設定


録音するフォーマットやレートを変更することができます。

- 1 セッティングメニューにて、◀◀側または▶▶側に▶▶キーを押し、「録音設定」を選びます。

- 2 ▶▶キーを押します。
- 3 ◀◀側または▶▶側に▶▶キーを押し、「フォーマット」または「レート」を選びます。
- 4 ▶▶キーを押します。
 - フォーマットは次の3種類から選べます。
 IM ADPCM = IMA ADPCM、MS ADPCM = MS-ADPCM、PCM = PCM

 - レートは次の5種類から選べます。
 8000Hz、11025Hz、16000Hz、22050Hz、32000Hz
 レートの値が大きいくほど音質はよくなりますが、データも大きくなります。
 • 本機で作ったデータをパソコンや他の機種で再生する場合、その機種が再生できるフォーマットにする必要があります。
- 5 ◀◀側または▶▶側に▶▶キーを押し、お好みのフォーマットやレートを選びます。
- 6 Mキーを押します。
 - セッティングメニューの表示に戻ります。

✓ 注意 • 録音されるファイル形式は、WAV形式になります。

オートオフ

電源を自動的に切る設定ができます。

- 1 セッティングメニューにて、◀◀側または▶▶側に▶▶キーを押し、「オートオフ」を選びます。

- 2 ▶▶キーを押します。
 - 「なし」「1分」「2分」「5分」「15分」が表示されます。
- 3 ◀◀側または▶▶側に▶▶キーを押し、オートオフ時間を選びます。
 - 「なし」を選ぶと、オートオフ機能は働きません。
- 4 Mキーを押します。
 - セッティングメニューの表示に戻ります。

✓ 注意 • オートオフ機能は、停止中(■表示)のときに動作します。一時停止(⏸表示)中、再生中、録音中は動作しませんので、ご注意ください。

設定を初期状態に戻す

セッティングメニューを使って変更した設定を、初期の状態に戻すことができます。

- 1 セッティングメニューにて、**◀◀**側または**▶▶**側に**▶▶**キーを押し、「初期状態へ戻す」を選びます。



- 2 **▶▶**キーを押します。
 - 設定中の表示の後に、完了が表示されます。

言語

メニュー画面を、日本語または英語で表示できます。

- 1 セッティングメニューにて、**◀◀**側または**▶▶**側に**▶▶**キーを押し、「言語設定」を選びます。



- 2 **▶▶**キーを押します。



- 3 **◀◀**側または**▶▶**側に**▶▶**キーを押し、表示させる言語を選び、**▶▶**キーを押します。

- 4 **M**キーを押します。
 - セッティングメニューの表示に戻ります。



ヒント

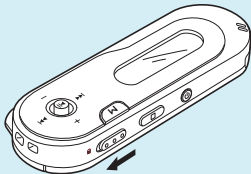
- なお、言語設定を「英語」にしても、日本語のアルバム名やタイトル名は日本語で表示されます。

▶ 間違ってキーを押さないために


■ ホールド機能について

ホールド機能を使うと、本機のキー操作を行えなくすることができます。誤ってキーを押してしまうことを防ぎたいときにお使いください。

- 1 ホールドキーを左側(🔒 マーク側)にスライドさせます。
 - ホールドキー以外のキーは使えなくなります。
 - 本機がホールド状態のときは、操作すると「ロック状態」が表示されます。




- 2 ホールド機能を解除するには、ホールドキーを右側にスライドさせ元に戻します。

-  **ヒント** ● ホールド状態のときに電源を入れても「ロック状態」と表示されて電源は入りません。
持ち運ぶ時に、間違って電源が入るのを防ぐことができます。

▶ ファームウェアのアップグレードについて

ファームウェアをアップグレードすることで、機能を追加したり、より使い易くすることができます。

-  **注意** ● アップグレードを行う前に、下記の説明をお読みください。手順通りに行わない場合、本機が動作不能になる場合があります。なお、最新のファームウェアは、SIREN Web サイト [www.sirenjp.com/support/] からダウンロードしてください。
- ファームウェアをアップグレードする前に、本機に入っている重要なファイルは必ずバックアップを行ってください。

■ ホームページからのファームウェアのダウンロード方法

- 1 SIREN Web サイト [www.sirenjp.com/support/] より、本機のファームウェアのアップグレード用のデータをダウンロードしてください。
 - ファームウェアのデータは、ファームウェアのデータと本機のファームウェアを書き換えするためのプログラム等と一緒に圧縮された状態です。
 - デスクトップ上にダウンロードすると、ダウンロードした後にデータが探しやすくなります。

- 2 ダウンロードしたデータをダブルクリックします。



DP10TFIRM295.exe

- データの解凍が始まります。

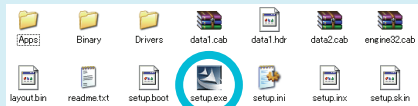
3 データの解凍が始まると解凍先を聞いてきますので、デスクトップを指定します。

- デスクトップにファームウェアのフォルダーが解凍されます。

4 解凍されたフォルダーをダブルクリックして開いてください。

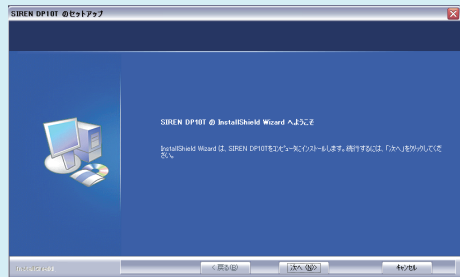
- フォルダーが開きます。

5 「setup.exe」をダブルクリックしてください。

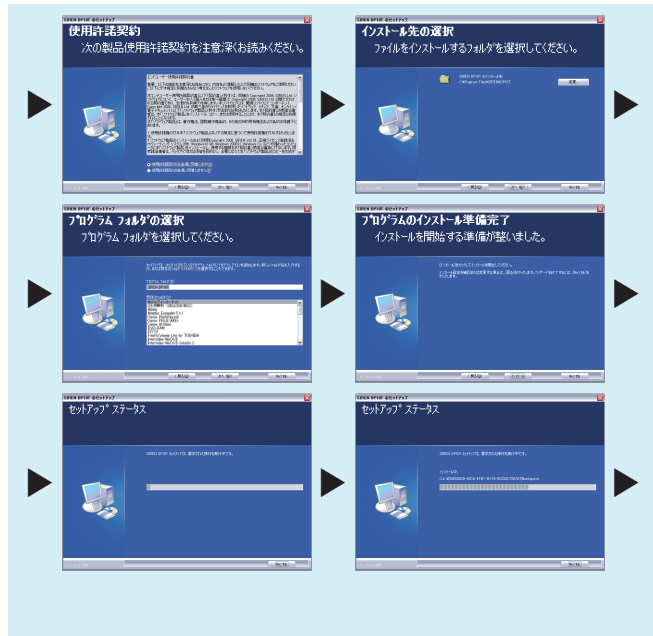


- ファームウェアの書き換えプログラムのインストールが開始されます。

6 プログラムからの質問に答えながら、インストールを進めてください。

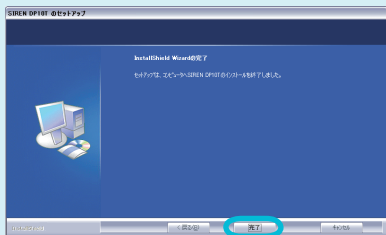


SIREN



SIREN

41



- 最後に「完了」を押してください。

7 「スタート」をクリックし、「SIREN DP10T Firmware Download」のアイコンが表示され、インストールされたことを確認します。

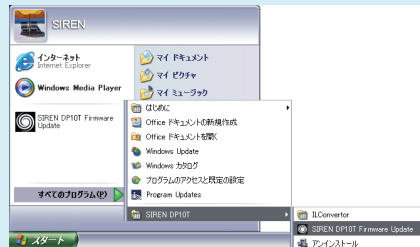
- インストールが完了して、初めて「スタート」をクリックすると「新しいプログラムがインストールされました。」と表示されます。
- もし、スタートメニューにアイコンが見えない場合は、「スタート」→「すべてのプログラム」(すべてのプログラムが表示されます)→「SIREN DP10T Firmware Download」がインストールされたことを確認してください。



- ここでのプログラム名やファイル名または各表示は、改良のため予告無く変更されることがあります。
また、一部の表示は取扱説明書において読みやすくするために、文字を大きくしている箇所があります。

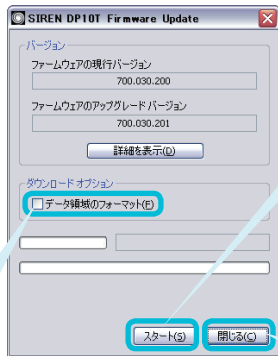
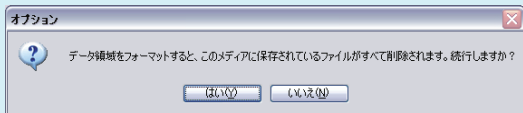
ファームウェアのアップグレード方法

- 1 付属の USB ケーブルを使って、本機の USB 端子とパソコンの USB ポートを接続してください。
- 2 「スタート」→「すべてのプログラム」→「SIREN DP10T」→「SIREN DP10T Firmware Download」を選択し、クリックします。



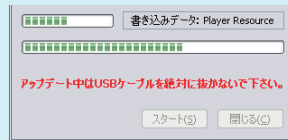
- ファームウェアのアップグレードのプログラムが立ち上がり、ウィンドウが開きます。
- 「スタート」をクリックし、「SIREN DP10T Firmware Download」のアイコンが表示されている場合は、そのアイコンをダブルクリックしてください。

- 3** アップグレードを開始する前に「データ領域のフォーマット」欄チェックマークを確認し、本機内のデータを削除したくない場合は、チェックマークを外してください。
- 本機内のデータを削除しても良い場合は、「データ領域のフォーマット」欄チェックマークを入れてください。チェックマークを入れると、確認のためのウィンドウが開きます。「はい」をクリックしてください。



- 4** 「スタート」をクリックするとファームウェアの書き込みがスタートします。

- ファームウェアの書き込み中は、ケーブルを取り外したり、電源を切ったりしないでください。ファームウェアの書き込みに失敗して本機が動作しなくなることがあります。
- ファームウェアの書き込み状況は、下段 2 つのバーにより確認できます。



- 5** ファームウェアの書き込みが完了すると、「完了」と「閉じる」ボタンが表示されますので、「閉じる」をクリックしてください。

- ファームウェアの書き込みが完了すると、下段 2 つのバー表示が右まで一杯になります。また「アップデート中は USB ケーブルを絶対に抜かないで下さい。」の表示が消えます。



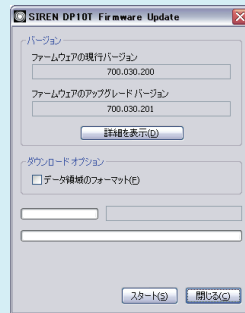
- 6** 全ての作業が終了していることを確認してから、パソコンからの切り離しの手順(P.13 ～ P.15 参照)に従って、本機をパソコンから取り外してください。

リカバリーモードを使ってのファームウェアのアップグレード方法

なんらかの不具合により、本機がパソコンに認識されない場合や、通常の方法ではアップグレードできない状態になったときには、リカバリーモードを使ってファームウェアのアップグレード行ってください。

- 1** 本機の電源を切ります。
- 「電源が入らない」等の不具合で、完全に電源がオフになっているかどうか分からない場合は、本体の電池を一旦取り外して、再度入れてください。
- 2** ① キーを押すと同時に、パソコンの USB 端子へ接続してください。そのままの状態 で 10 秒以上(パソコン上で認識されるまで) ① キーを押した状態にしてから、① キーを離してください。
- リカバリーモードに入ると、本体の LCD には何も表示しません。LCD に表示が出れば、リカバリーモードには入っていませんので、再度接続してください。

- 3** 「スタート」→「すべてのプログラム」→「SIREN DP10T」→「SIREN DP10T Firmware Download」を選択し、クリックします。
- リカバリーモードによるファームウェアの書き換えの場合は、最初に下記の画面が表示されます。



- パソコンに本機が認識されると、ファームウェアのアップグレードのプログラムが立ち上がり、ウィンドウが開きます。

- 4** これ以降は、「ファームウェアのアップグレード方法」の手順 3 から行ってください。
- リカバリーモードによるファームウェアの書き換え時はすべてのデータをリセットするため、保存しているデータもフォーマットする必要があります。「データ領域のフォーマット」欄にチェックマークを入れてください。マークを付けなかった場合でも、データ領域のフォーマットをするようにメッセージが表示することがあります。

ファームウェアのバージョンを確認

本機ファームウェアのバージョンを確認するには以下の方法で確認してください。

本機表示部で確認する

- 1 メインメニューにて、◀◀ 側または ▶▶ 側に ▶▶ キーを押し、「製品情報」を選び、▶▶ キーを押します。



- メモリー量が表示されます。

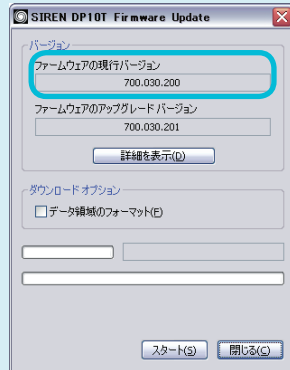
合計：	222	MB
フリー：	25	MB

- 2 ▶▶ 側に ▶▶ キーを押すと、ファームウェアのバージョンが表示します。

バージョン：	3.293
--------	-------

ファームウェアのアップグレード画面で確認する

- 1 「ファームウェアのアップグレード方法」(P.43 ～ P.46) 手順 1 から 4 に従い、アップグレード画面を表示します。



上記の画面の「ファームウェアの現行バージョン」の欄に表示している数字が本機のファームウェアバージョンです。

その他

▶ 故障かなと思ったら

製品が正常に作動しない場合には、まず以下の内容をご確認ください。

症 状	処 置
電源が入らない	<ul style="list-style-type: none">● 電池が切れている場合があります。新しい電池と交換してください。
イヤホンから音が出ない	<ul style="list-style-type: none">● イヤホンが正しく接続されているか確認してください。● 音量が最小になっていないか確認してください。● 電池が切れている場合があります。新しい電池と交換してください。● イヤホンジャックに何か詰まっていますか、またイヤホンジャックはきれいですか。● ダウンロードしたデータ形式は正しいですか。
表示が正しくない	<ul style="list-style-type: none">● 表示したい言語とデータ内文字データ (ID3 タグ) が正しく合っていますか。● 本機では取り扱えない、データ内文字データ (ID3 タグ) ではないですか。

症 状	処 置
データのダウンロード・アップロードがうまくいかない	<ul style="list-style-type: none">● 電池が切れている場合があります。新しい電池と交換してください。● USB ケーブルが正しく接続されているか確認してください。また、USB ケーブルが切断などされていないことを確認してください。● 本機のメモリーが不足状態になっていませんか。不要なデータは削除してください。
本機がフリーズした(動作しなくなった)	<ul style="list-style-type: none">● 本機をリセットしてください。(リセット方法は P.52 参照)● リセットで改善されない場合は、ファームウェアの書き換え(アップグレード)を行います。(アップグレード方法は P.43 ~ P.47 参照)

前記の表をご覧になっても問題が解決されない場合は、SIREN Web サイト [www.sirenjp.com] をご参照ください。

弊社 Web ページの「Support (サポートセンター)」にある「FAQ (よくある質問と答え)」ページでは、皆様からお寄せいただいたご質問とその回答を紹介しております。一般的な問題やご質問の多くは FAQ の情報で解決できますので、ぜひご参照ください。

FAQ をご覧になっても問題が解決されない場合は、サポートセンターへお問い合わせ下さい。

www.sirenjp.com/support/

■ 本機のリセット方法 ■

- 1** 本機から一度電池を抜いて、暫くしてから再度電池を入れてください。
- 電池の入れ方は、取扱説明書の「電池の入れ方」(P.3～P.4)をご覧ください。



ヒント

- リセットを行うと、セッティングメニューでの設定は初期状態に戻ります。
 - リセットを行っても、音楽データや録音データは消去されません。
- 本機をリセットしても問題が解決されない場合は、サポートセンターへお問い合わせください。

<http://www.sirenjp.com/support/>

■ サポートセンターへのお問い合わせ方法 ■

ご使用の製品とご使用環境に関する「サポートに必要な情報」が必要となります。全ての情報をご用意いただいた上でお問い合わせいただきますと、より早い対応が可能となります。

サポートに必要な情報

- ご使用の製品名「DP10T」とファームウェアのバージョン
- 本体裏面シールに記載されているシリアル番号(S/N)
- 再生した音楽ファイルのデータ形式(WMA、MP3)
- 音楽ファイルを作成する際に使用したソフトウェアの名(RealOne、WMP など)
- 具体的なお問い合わせの内容
行なった操作、手順、発生した不具合の状況について詳細にお知らせください。また、エラーメッセージなどが表示されている場合は、メモをとってお知らせください。
- パソコンのメーカー名、機種名
(自作パソコンの場合は、マザーボードおよびCPUの名前)
- OSの種類とバージョン

お問い合わせ先

Web ページアドレス：www.sirenjp.com/support/

電子メール：support@sirenjp.com

受付時間：平日(月曜～金曜)

電話：0570-001-606

午前 9:30 ～午後 9:30

※ IP 電話、PHS 電話では繋がりませんので、一般の電話か携帯電話でお掛けください。

最新情報について

DP10T の最新情報に関しては、上記弊社 Web サイトにてご覧ください。また、ユーザー登録をいただくと、最新情報をメールにてお送りします。

製品の修理／交換について

製品の修理／交換の受付先はサポートセンターです。製品に不具合が発生し、修理が必要と思われる場合は、ご購入店へ製品をお持ちにならずに、まずサポートセンターへお問い合わせください。不具合の内容によっては、修理をしなくとも解決できる場合がございます。

修理・交換の手順

1. お客様からサポートセンターへ直接お問い合わせください。
2. サポートセンター担当者が修理または交換の必要性を判断します。
3. 修理または交換が必要な場合、サポートセンターから返送整理番号(RMA 番号)と不具合品の返送方法をお客様にご案内します。
4. 不具合品を弊社指定先へ返送整理番号(RMA 番号)を記載してご返送ください。
5. 弊社にて返送品を受領後、お客様へ修理品または交換品を発送いたします。



- 修理依頼を受けました依頼品の内部のデータ関係については、一切保証致しませんので、ご了承ください。

サポートセンターからご案内する返送整理番号(RMA 番号)の無い返送品はお受け取りすることができません。製品を返送する前に必ずサポートセンターへお問い合わせ下さるようお願い致します。弊社指定先への返送時の送料はお客様のご負担となります。修理品または交換品の発送時の送料は、弊社が負担いたします。

製品の修理または交換の時には、製品保証書と購入日の証明が必要となります。ご購入の際に販売店で、製品保証書に販売日・販売店印を記入、捺印してもらうかそれらが記入されたシールなどをもらって下さい。購入の際のレシート、領収書、通信販売の場合は製品の送り状等も購入日の証明となります。製品保証書と購入日の証明が無い場合には、保証期間中でも無償修理または交換が受けられません。詳しくは保証規定をご参照ください。

